

◎地域情報拠点としての図書館の充実を図る

◎市民と共に歩み、市民と共に作る図書館運営をすすめる、市民要望に的確に応じて市民満足度の向上を図る

1 社会教育環境の整備

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	令和元年度 事業実績	令和2年度 事業目標(数 値目標)	令和2年度 事業実績	達成率	自己評価		
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)
1-1 図書館資料の充実	予算の適正な執行により、資料の刷新を図り、市民満足度を高め、資料蔵書数60万点、年間貸出点数90万点達成を目指す	1 蔵書資料点数の充実	資料蔵書数	579,430点	585,000点	582,693点	99.61%	5	概ね順調に充実は図れた。	現状を維持していく
		2 貸出点数の増加	貸出点数	794,285点	860,000点	480,765点	55.90%	3	概ね貸出点数を維持できた。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館等を加味	現状を維持していく
		3 子どもの読書推進のための児童書や、調べ学習に使える児童向け図書を購入	年間購入数	2,804点	2,635点	2,539点	96.36%	5	概ね順調に購入による受入れができた。	現状を維持していく
		4 郷土資料・行政資料の充実を図る	年間収集数	498点	500点	469点	93.80%	5	概ね順調に購入及び寄贈による受入れができた。	現状を維持していく
		5 市民ニーズに応じて、健康・職業・経済に関する図書や文学(小説)、大人向け紙芝居など一般向け図書を購入	年間購入数	6,062点	5,900点	5,180点	87.80%	5	幅広いジャンルで購入し、受入れができた。 ※紙芝居の出版社が倒産したことを加味	現状を維持していく
		6 各種調査研究のための参考図書を購入	年間購入数	281点	175点	263点	150.29%	5	毎月、毎年発行されている資料は、購入により受入れできた。	現状を維持していく
		7 視力の弱い方や高齢者の読書推進のための大活字本を購入	年間購入数	81点	110点	101点	91.82%	5	概ね出版されているものは全て購入している。 出版自体が少ないため目標値には届かなかったと思われる。	現状を維持していく
		8 企業スポンサーによる雑誌寄贈の受入れ	年間寄贈雑誌種数	18種	18種	27種	150.00%	5	昨年度受け入れていた企業から継続して雑誌を受け入れることができた。さらに新たな企業と契約して目標値を超えることができた。	寄贈雑誌の中で休刊となった雑誌が出てきた場合、代替の雑誌を入れていただけるよう努力したい。また、現在スポンサーとなっていない企業にも働きかけていきたい。
		9 在住外国人の生活支援のための外国語資料の収集	総蔵書数	1,719点	1,730点	1,793点	103.64%	5	概ね順調に購入及び寄贈による受入れができた。	現状を維持していく

1 社会教育環境の整備

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	令和元年度 事業実績	令和2年度 事業目標(数 値目標)	令和2年度 事業実績	達成率	自己評価				
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)		
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	レファレンスサービスの充実のため、職員の研修への積極的な参加を促す	1 人事異動等によって司書資格職員数を増やす	司書職員数	36人	37人	35人	94.59%	5	人事異動により1名減り、その後1名司書資格を取得するため講義を受ける予定であったが、新型コロナウイルス拡大防止のため中止となり1名減の9名となった。 (本館) 司書率63%。12名/20名⇒12名/19名(西武分館) 司書率67%。4名/7名⇒4名/7名(金子分館) 司書率56%。10名/20名⇒10名/18名(藤沢分館)	現状を維持していく		
		2 レファレンスサービス向上のため、県、地区等の研修会に参加	参加回数	1回	1回	1回	100.00%	5	県の研修に参加し、県内の図書館職員とともに課題に取り組み、レファレンスに関する知識を得ることができた。	図書館協力レファレンス掲示板などを用いて県内の他館と協力し、レファレンスサービスの向上に努める。		
	市内全域、全年齢層の市民に対して、公平・平等な図書館サービスを提供し、またそのサービスの充実に努める	3 高齢者、障害者の読書推進のため、録音資料を作成	録音資料作成点数	4点	3点	3点	100.00%	5	利用者と電話でのコミュニケーションを重ね、全国の図書館等に所蔵の無い録音図書を作成、提供することができた。依頼は多かったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、録音や校正をする部屋を借りることができない時期があった。そのため作成点数は3点となったが、完成した資料に、利用者の方たちが満足していた。	今後も利用者の方たちとコミュニケーションを重ね、需要にあったものを作成・提供できるように努める。		
	図書館ボランティアの育成に努め、その活動の場を提供し、活動を支援する	ボランティアの活動の場である「おはなし会」を全館で開催	4	おはなし会回数	329回	350回	70回	20.00%	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できた回数は少なかったが、おはなし会を開くときには感染症対策を行い、安心して参加できるよう工夫した。常連の子ども他、新規の参加もあり、多くの子どもたちがおはなし会を楽しんでいた。 コロナ禍でもボランティア団体と共に感染防止対策を話し合い、実施した。今年度は土曜日のみ開催とし、8月中の試行1回と、10～12月中に12回行った。常連の参加者のほか乳児の新規参加もあり、図書館への期待に可能な限り応えることができた。 (西武分館) 通常又は部分開館で新型コロナウイルス感染症対策を行い、おはなし会を開催。また、子育て支援サークル、高齢者向けサークルへの読み聞かせ支援も同様に実施した。 (金子分館) おはなし会は10月からの再開となった。コロナウイルス感染症対策のため館内のおはなし会の部屋が使用できず公民館の部屋を借りての開催となった。部屋の都合で今までと同じ回数では実施できず、告知やコロナ対策などの懸念事項はあったが大勢の人が参加してくれ新たなリーダーができた。(藤沢分館)	今後も、より多くの子どもたちに参加してもらえよう、努めたい。 (本館) 新型コロナウイルス対策に伴うイベント中止や臨時休館により、実施回数は目標回数より少なくなった。 (西武・金子・藤沢分館)	
			5	利用促進のため「おたのしみ会」を開催	おたのしみ会回数	8回	6回	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、開催せず。	実施していく
			6	研修会(ボランティア研修会)の実施	研修会開催回数	0回	1回	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、開催せず。	予算確保にも努めたい
			7	子どもたちを対象とした「ブザー一日図書館員」を実施(本館)	参加者数	92人	96人	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、開催せず。	実施していく
			8	利用促進事業として「人形劇」を開催	参加者数	-	100人	-	0.00%	-	過去には実施していたが、一定の役割を果たしたため、実施せず。(予算措置なし)	他の方法で利用促進を図る
	利用促進につながる各種事業を実施し、分館においては民間のノウハウを活用する		9	子ども読書推進のため「読書ラリー」を実施	修了者数	283人	300人	203人	67.67%	4	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、予定通りの実施ができなかった。(全館) 昨年より修了者が減ったがコロナ禍においては健闘したものとした。 (西武分館) コロナウイルス感染による自粛や部分開館などで苦戦を強いられた。毎年達成率は減少傾向にあるが、館内に賞品であるカルタの掲示やクイズポップなど作成しカウンターでも積極的に声をかけた。昨年よりは期間が長いこともあったが、前年度を超えた達成率となった。(藤沢分館)	実施していく
			10	利用促進のため文学講演会を開催	参加者数	-	100人	-	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、開催せず。	実施していく
			11	利用促進のため分館3館で自主事業を開催	実施事業数	41事業	40事業	31事業	77.50%	4	継続事業をはじめ、講座や公演形式の事業は中止を余儀なくされた。しかし季節ごとの「おたのしみ袋」や「2冊セット」貸出のような貸出に直接つながる企画が好評だった。 自主事業の実施回数については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館や部分開館した4～6月、1～2月の期間中止したため、当初計画通りに開催できなかった事業もあったが、新規に企画した4件の自主事業をはじめ、開催時期等を変更して70%の事業を実施した。 (金子分館) 年間計画にあった自主事業はほとんど中止となったが、「三冊セット」おすすすめBOX」など2,000冊を超える貸出しに結び付く事業や「おてがみください」のように図書館との新たな絆を作る事業などで結果を出すことができた。 (藤沢分館)	現状を維持していく

1 社会教育環境の整備

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	令和元年度 事業実績	令和2年度 事業目標(数 値目標)	令和2年度 事業実績	達成率	自己評価			
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)	
1-2 魅力ある図書館づくりの推進	本館、西武分館、藤沢分館の夜間(17時~20時)入館者数平均	12	夜間入館者数	413人	400人	86人	21.50%	-	緊急事態宣言により、臨時休館や部分開館となった期間があったが、令和2年7月~12月と3月の5日間は夜間開館を実施した。(全館)	実施していく	
		13	本館閲覧席夜間開放事業(20:00~21:30)による利用者数平均	利用席数	12席	15席	10席	66.67%	-	緊急事態宣言により、臨時休館や部分開館となった期間があったが、令和2年7月~12月まで夜間開館を実施した。また3月の5日間は21時まで夜間開館した。(全館)	実施していく
		14	入館者数の増	年間入館者数	645,891人	653,000人	341,039人	52.23%	-	緊急事態宣言により、臨時休館や部分開館となった期間があったため入館者数の減少があった。(全館) やむなく臨時休館や部分開館となった期間が年間のほぼ3分の1となり、昨年より激減した。(西武分館) 昨年より減少した。(金子分館) 臨時休館や部分開館など来館者が減少することはやむを得ない年度ではあったが、開館時に利用者を増やすための対策をもう少し検討するべきだった。(藤沢分館)	実施していく
	地域情報の収集、提供の他、ホームページによる図書館情報の迅速かつ正確な提供を行う	15	視聴覚ライブラリーを活用し映画会を開催	年間上映回数	21回	24回	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、開催せず。(西武分館)	実施していく
		16	図書館ホームページのメンテナンスを実施	メンテナンス実施回数	12回	12回	12回	100.00%	5	実施が遅れることはあったが、毎月1回システム担当による各ページのチェックを行い、情報の刷新を図った。	必要に応じて、チェック項目の更新を図る。
	各種メディアや広報紙等を活用し、図書館情報の発信や事業の実施状況を発信する	17	パスワード登録者数	新規パスワード登録者数	3,710人	3,000人	2,265人	75.50%	4	新型コロナウイルス感染症防止のために臨時休館や部分開館の時期があったことが影響して目標値には達しなかった。	パスワードを登録するメリットとともに、図書館ホームページや館内OPACから手軽に登録できることをPRしていく。
		18	「広報いるま」の毎月1日号に図書館関連記事を掲載	年間掲載月数	12回	12回	10回	83.33%	-	目標値には達しなかったものの、各館でのイベント情報等について正確に掲載することができた。	広報の配布日程を考慮し、予定しているイベントやお知らせが全て掲載できるように調整していきたい。
		19	「広報いるま」に図書館関連の特集記事を年1回以上掲載	年間掲載回数	1回	1回	1回	100.00%	5	特集記事で、資料宅配サービスについて紹介ができた。	今後も担当以外にもアイデアを聞きながら特集記事の内容を決めたい。
		20	図書館だよりの発行	年間発行回数	4回	4回	4回	100.00%	5	目標回数の4回発行できた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係でイベントのお知らせなどに大きな変更があり、1月号は発行することができなかったが、その後記事を修正して3月号として発行することができた。	全館分の事業案内の校正に時間がかかるが、余裕をもって取り組み、記事の内容をより充実させていきたい。
		21	金子分館だよりの発行	年間発行回数	12回	12回	12回	100.00%	5	金子分館だよりは、毎月金子小学校図書委員おすすめ本を紹介し、金子小学校や学童・保育所向けには「わくわく分館だよりの発行」を毎月発行した。(金子分館)	現状を維持していく。
		22	コミュニティFM放送に出演	年間出演回数	50回	50回	52回	104.00%	5	計画通りの出演ができた。(全館)	現状を維持していく。
	分館の指定管理者による効果的な管理運営とサービスの向上を監督する	23	CATVでの図書館情報と資料を紹介	年間出演回数	12回	12回	13回	108.33%	5	今年度は3回の出演となっている。新型コロナウイルス感染症についてのお知らせを優先したいと広報課から打診があり、他の課に譲った等の経緯があるからである。新型コロナウイルスで例外的にこのような事態になってしまったが、必要なお知らせはおおむねできた。(本館) 講座・公演等が軒並み中止となり取材、出演がなかった。(西武分館) 部分開館中も、金子分館の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や来館時注意事項等を説明することができた。(金子分館) 「知っておいしい武蔵野うどんと日本の食文化」ではTBSの取材があったが、入開CATVは回の出演となった。事業実施までに時間がなかったこともあったが、積極的にかかわることができなかった。(藤沢分館)	今後も出演回数の確保に努めたい。(本館) 入開CATVに取り上げていただける回数を増やせるよう、PRなどを工夫していく。(藤沢分館)
24		指定管理者の実地調査(モニタリング)を実施	実施回数	2回	2回	2回	100.00%	5	予定通り実施できたため。	現状を維持していく。	
25		指定管理者の人員費や労働条件等の確認	実施回数	3回	3回	1回	33.33%	-	1~3回目は、緊急事態宣言が発令されて、実施することができなかった。	現状を維持していく。	
図書館運営を自己評価し、図書館協議会の外部評価を受けた後、市民に公表する	26	図書館運営の自己評価及び図書館協議会による外部評価を公表	評価と公表の実施	1回	1回	1回	100.00%	5	予定通り実施できたため。	現状を維持していく。	

2 家庭・地域の教育力の向上

重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	令和元年度 事業実績	令和2年度 事業目標(数 値目標)	令和2年度 事業実績	達成率	自己評価		
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)
2-1 家庭・地域の教育力の向上	学校図書館や学校図書館ボランティアと連携協力し、子どもたちの学習活動及び読書活動を支援する	1 図書館見学(小学校3年生)を市内全校で実施	参加校数	15校	16校	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、実施ができなかった。(全館)	図書館を実際に見学することによって、より図書館に親しみをもってもらう。利用促進につなげていけるよう今後も努めていく。ただし、図書館見学の実施は、学校の意向にもよる。
		2 図書館利用教室(小学校2年生)を市内全校で実施	参加校数	16校	16校	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、実施ができなかった。(全館)	利用教室を通じて、図書館に興味をもってもらえるよう今後も努めていく。ただし、図書館利用教室の実施は、学校の意向にもよる。
		3 学校図書館ボランティア育成のための研修会を開催	参加者数	63人	50人	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、開催ができなかった。(本館)	中学校の学校図書館ボランティアは参加が少ないので、今後も呼びかけに努めたい。
		4 移動図書館車の学校への定期的な巡回を実施	巡回学校数	8校	8校	8校	100.00%	5	緊急事態宣言に伴い運休もあったが、宣言解除後の学校巡回に当たっては、通常どおり配車できた。	移動図書館車の配車時間が合わないことから、余り利用されない学校がある。毎年、配車時間を一部調整したい。
		5 配本サービスを実施	箇所数	39箇所	40箇所	57箇所	142.50%	5	定期利用・不定期利用合わせて57箇所(定期・不定期で重複あり)配本を行った。	年々、徐々に周知され、利用団体も増加している。供給が滞りなく行えるよう、業務手順等の見直しを図る。
	市民生活の中での読書活動の重要性を伝える事業や親子の読書活動のきっかけづくりとなるような事業を市内各課と協力して実施する	6 ブックスタート事業実施に向けて市内連携会議を開催	会議開催実績	0回	1回	-	0.00%	-	予算が確保できず、具体的な担当課や会議の予定も立っていないため。	引き続き、予算確保に努めたい。
		7 ブックスタート関連事業を実施	年間実施回数	10回	12回	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染防止対策の関係でやむを得ず、中止となつてしまったため。(全館)	目標回数は12回だが、これはBOGの採算回数である。この機会を利用して行っているため、内容的には、沢山の赤ちゃんと保護者に話したいが、これ以上増やすことは不可能であるため、現状を維持していく。また、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策の関係で中止になつたが、今後も状況を鑑みて適切に実施できるよう努めたい。
		8 市内関係課との連携事業を実施	事業実施数	8事業	9事業	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、ほとんどの事業が開催できなかった。	実施していく
	ボランティア団体と協力して利用促進につながる事業を実施するとともに、ボランティア団体の育成、支援の場とする	9 「おとなのための朗読会」を開催(西武分館 共催:小函の会)	年間実施回数	1回	1回	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染防止対策の関係でやむを得ず、中止となつた。(西武分館)	開館状況やイベント、図書館利用の促進についてなど、多様な媒体を利用し周知するよう努めたい。(西武分館)
		10 「古典朗読会」を開催(藤沢分館 共催:古典の会)	年間実施回数	11回	10回	-	0.00%	-	新型コロナウイルス感染防止対策の関係でやむを得ず、中止となつた。(藤沢分館)	実施していく
		11 「公民館との共催事業」を開催	実施事業数	5事業	5事業	6事業	120.00%	5	毎年夏に行っている「子ども映画会」は中止になり、実施していない。(金子分館) 例年行っている「サマーキッズ教室」や文化祭は中止となつた。臨時学習室の実施や元気がでるふじさわ未来ネットとのハロウィン事業など新規開拓事業に取り組めた。(藤沢分館)	実施していく

3 図書館施設の整備										
重点施策	重点施策の目標	実施事業 (評価対象事業)	評価指標	令和元年度 事業実績	令和2年度 事業目標(数 値目標)	令和2年度 事業実績	達成率	自己評価		
								事業評価 点数	事業評価の主な理由	課題及び改善点(又は今後の方向性)
3-1 図書館網の整備	図書館情報ネットワークシステムの安定的な運用に努める	1 図書館システムの安定的な運用(事故回数をゼロとする)	システムダウン回数	0回	0回	0回	100.00%	5	利用者に影響が及ぶシステムダウンは発生していない。	今後とも適切な運用を心掛けるとともに、不具合発生時に迅速な対応が取れるよう、情報共有を図る。
	ダイヤ4市及び青梅市との利用促進につながる広域サービス利用者数の増加を目指す	2 ダイヤ5市との相互利用促進	相互利用者数	35,304人	35,900人	22,324人	62.18%	4	概ね利用を維持しているため。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館等を加味	相互利用についてのPRを図りたい。
		3 青梅市との相互利用促進	相互利用者数	57人	100人	52人	52.00%	3	概ね利用を維持しているため。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館等を加味	相互利用についてのPRを図りたい。
	埼玉県西部地域まちづくり協議会図書館部会での情報交換に努め、市民への公平・平等な広域サービスの提供に努める	4 西部地域まちづくり協議会(図書館部会)への出席	年間会議出席回数	3回	3回	3回	100.00%	5	1回目は会議が実施できたが、緊急事態宣言が発令され、残りの2回は、書面会議となった。	現状を維持していく。
3-2 図書館施設の計画的な整備	施設設備の計画的な整備により、市民に快適な読書環境の提供を行い、施設に対する市民満足度を向上し、公共施設としての最適化を進める	5 本館の館内設備の充実を図る	実施件数	3件	1件	2件	200.00%	5	官報情報検索サービスへの移行、自動紙折り機購入ができたため。	引き続き、館内設備の更新に努めたい。
		6 分館の館内設備の充実を図る	実施件数	3件	2件	9件	450.00%	5	書籍除菌機の設置。会議室A、視聴覚室の空調設備緊急修繕工事。入口庇軒天改修工事、照明設備一部LED化工事。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、カウンターのビニールシート付け替えと閲覧席の亚克力板設置、おはなし会用の衝立の制作やパーテーション設置、各会議室へのふき取り用消毒液の設置などを行った。(西武分館) グリーンカーテンにノウゼンカズラを追加。金子独自の郷土資料の充実。YA書庫、一般文庫用書庫、紙芝居の棚を増設。閲覧席に段ボールで仕切りを設置しカウンター周りも新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った。(金子分館) 各書架の見出しをリニューアル。テラシヤの新設。SDGsの常設展示設置。カウンターにミニ展示コーナーを設置。ティーンズコーナーの表示をカウンターから見えるように改訂。コロナウイルス対策としてカウンター、閲覧席の飛沫防止シートや仕切りの設置、入り口や館内表示を子供用と大人用の2種類作成し掲示した。(藤沢分館)	引き続き、館内設備の更新に努めたい